



久々のツーショットの
畠山孝幸さん、真紀さん。



杉の葉の
おみこし

子供みこしが各家々の
戸口まで回ります。



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド²⁴

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
いつかいち
「五日市」

H19.5.3取材



大 分前から西館・東館・大葛の3地区では、5月3日に統
一してお祭りをする事になってきているそう。お祭り好
きとしては、こりゃもう、行くしかないでしょう！ 今回は
数ある町内の中から五日市へ。

町

内に入り、笛の音を頼りに探しているとおみこし発見！
まずは、子供会の会長**畠山孝幸さん**（五日市）と**真紀さん**
ご夫妻からお話を。「おみこしは、小学生と保育所の
子供たちが一緒に担いでいます。田尻、五日市、長内
沢は子供会と一緒にやっているの、この3町内を
回る」のだそうです。「小さい頃には、自分もや
ったけれど、もう忘れてしまっ...。みんなに
助けられてなんとかやってます」と孝幸さん。

みこしの重さは10キロを超えるくらい。昔の
みこしはもっと大きかったそうですが、子供
たちが担げるように今の大きさにしたとか。
「私は大館からお嫁に来ました。昔は実家で
もお祭りをやってましたけど、子供が町内に
いなくなると、やらなくなりました。ここに
来てから、またみこしができて、とっても楽
しい。杉の葉っぱを集めて作るっていうの
も、いいなあと思って思います」と裏方に徹して
いる真紀さん。

一 息ついたところで、田尻町内へとおみこしは向かいます。「これ飲
んで、元氣出して」と飲み物を子供たちに差し入れていたの
は、**田中ナリ子さん**（田尻）。「昔は、お祭りといえば、『棒タラ』や
『カスベ』、『赤飯』なんかたくさん作って、親類にも配って歩いたも
のです。近くにいる兄弟同士、呼んだり呼ばれたり、とても楽しいも
のでした」。ナリ子さんはお料理が好きで、お祭りのときには、たく
さんごちそうを作っていたそうです。「せっかく子供たちがみこしを
担いで、ここまで来てくれるんだもの、飲み物くらい出さなくちゃと
思って、買っておきました。足りないかなと思っただけ、これっさり
だって渡したの。もっと買ってあげれば良かった
んだけど、家まで持ってくるのが大変で、
自分で車を運転できれば、好きなだけ
買い物できるけど。ほんの気持ち
よ。子供たちの喜ぶ顔が見たく
て」。ナリ子さんは、普段は扇田
までバスで行って買い物してい
るそうです。確かに重いと家ま
で持ってくるのが大変ですよね
え。でも、そのお気持ちはちゃ
んと子供たちに伝わりましたよ。
だって、みんな喜んで飲んでいま
したの。

「子供たちの
喜ぶ顔が見たくて」
とナリ子さん。

